

高野山女人道巡り (ダイジェスト)

[※ 実施日—2021年7月26日(月)] ※弥生班 計8名

(ロードマップ)



1.⑨奥の院バス停(7:20) --出発



標識⑨



2.山行開始



3.急登を進む



4.⑧轆轤峠--大滝口女人堂跡



5.高野山内のビューポイントにて



6.杉林を進む



7. 大 門



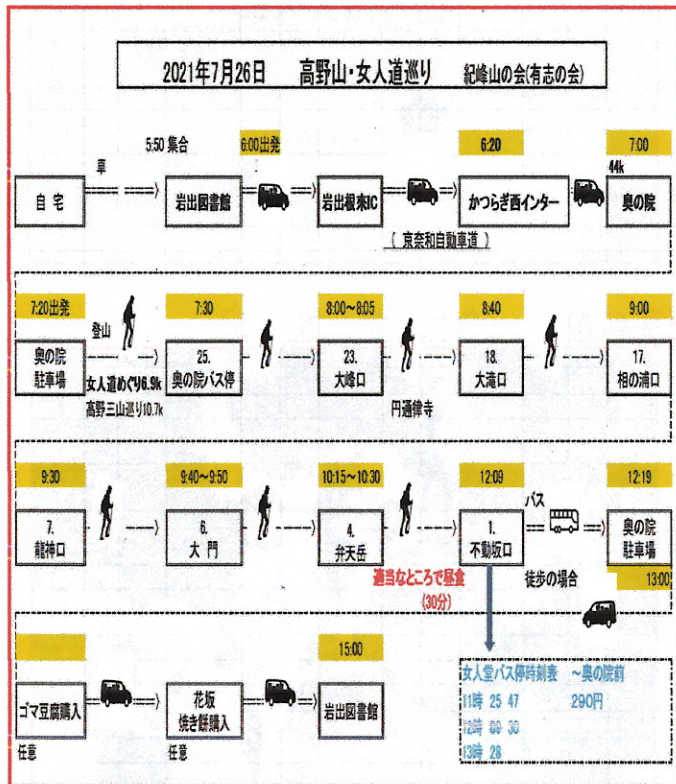
8.標識①--不動坂口女人堂跡(12:30)--到着



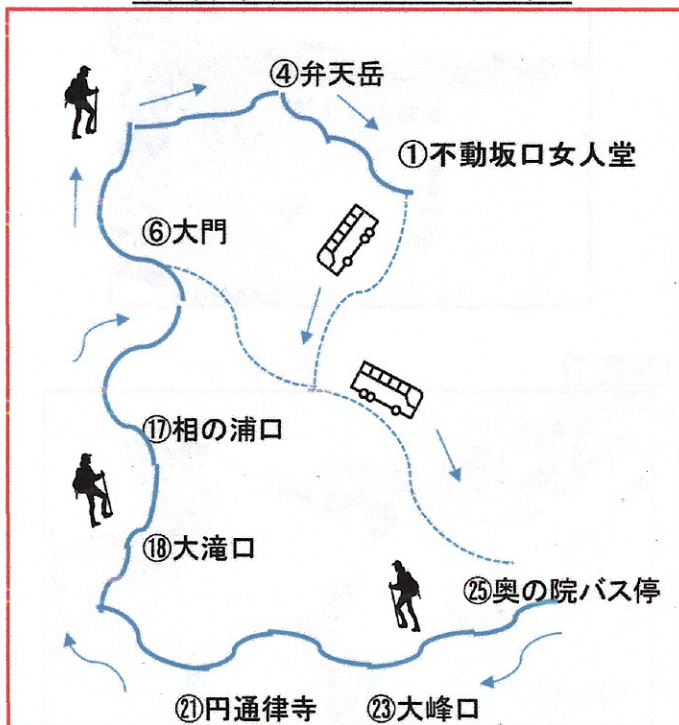
高野山・女人道巡り

※(山行日) ---- 2021 年 7 月 26 日(月)

※(行 程) [予定]



(高野山女人道ロードマップ)



紀峰山の会 (弥生班)

(メンバー) -----計 8 名

※(行 程) [結果]

(往路---車移動)

○岩出図書館 (出発) 6:00
○奥の院駐車場 (到着) 7:00

(山行).

1. ②⑤奥の院バス停 7:20
2. ②③大峰口 8:20
3. ①⑧大滝口 9:00
4. ①⑦相の浦口 9:30
5. ⑦龍神口 10:00
6. ⑥大門 10:15
7. ④弁天岳 11:10

(昼食)

8. ①不動坂口女人堂 12:30
9. 女人堂バス停
バスで移動
10. 奥の院バス停 12:50

(帰路---車移動)

○奥の院駐車場 (出発) 13:00
○岩出図書 (到着) 15:00

※[はじめに]

(高野七口女人堂跡)

※高野山は八葉の峰と呼ばれる 1,000m 前後の山々に囲まれた山上の盆地で、明治 5 年に女人禁制が解かれるまで、厳しく女性の入山を規制してきました。

※高野山への参詣道として俗に「高野七口」と呼ばれる街道が通じており、かつては各入口に女性のための籠り堂として女人堂が建てられ、女人信者は弘法大師空海の御廟を拝みたいと、女人堂から女人堂へ八葉蓮華の峰々を辿ったといわれ、この道を「女人道」と呼んでいます。

※2016 年、高野参詣道の一つとして、世界遺産『紀伊山地の霊場と参詣道』の構成資産に追加登録された。

(写真1) (奥の院駐車場)



(写真4) (標識②4)



(写真5) (急登に差し掛かる)



(写真2) (標識②5 奥の院バス停)



(写真6) (標識②3——大峰口女人堂跡)



(写真3) (山行開始)



(写真7) (浴道にあった二人静)



(写真8) (標識②②)



(標識②①—円通律寺)



(標識②①)



(標識①⑨)



(写真9) (標識—熊野参詣道)



(写真10) (標識①⑧—轆轤峠[ろくろとうげ])



(写真11) (整備された参道を進む)



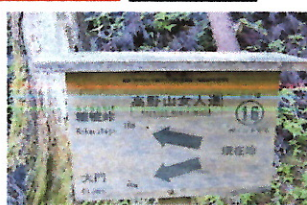
(写真12) (標識①⑦—相の浦口女人堂跡)



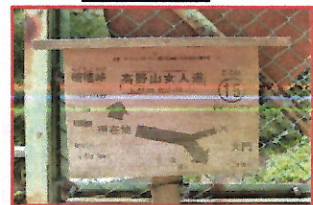
(写真13) (高野山内のビューポイントにて)



(写真14) (標識①⑥)



(標識①⑤)



(標識①④)



(標識①③)

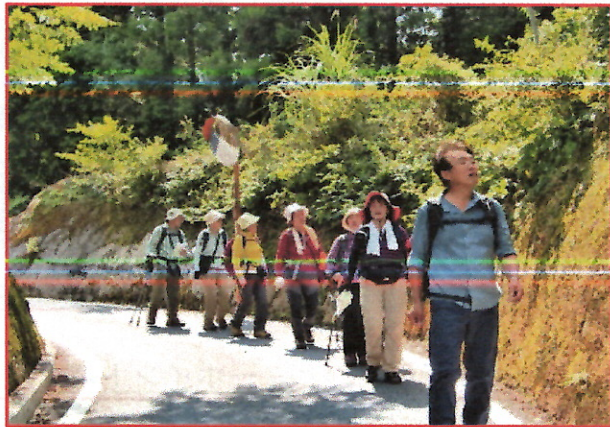


- ・熊野古道小辺路を辿り高野山を目指した参拝者は、ここ轆轤峠で初めて堂塔伽藍を眼にし、木々の間に見え隠れする堂塔伽藍を、まるで「轆轤っ首」のように首を伸ばして眺めたことが、名前の由来となったとか?。
- ・高野七口のひとつ大滝口女人堂が置かれていた場所でもある。

(写真 15) (杉林の急登を進む)



(写真 16) (平地へでる)



(写真 17) (標識⑫)



(標識⑪)



(標識⑩)



(標識⑨)



(標識⑧)



(標識⑦-龍神口女人堂跡)



(写真 18) (標識⑥) (標識⑤---大門)



(写真 19) (大門の前にて)



(写真 20) (大門の横から弁天岳へ)



(写真 21) (大門口女人堂跡)



・ 視界が開け、壇上伽藍が見える。

(写真 22)

(標識④--弁天岳)



(標識③--谷上女人堂跡)



(標識②)



(標識①--不動坂口女人堂跡)



(写真 23)

(キッコウハグマ[亀甲白熊])



・沿道にありました。

(写真 24)

(キノコ)



・沿道にありました。

(写真 25)

(キノコ)



・沿道にありました。

[最後に]

※・今回は「立山三山」への山行予定であったが台風8号により延期し、急遽、「高野山 女人道巡り」に変更した。

・高野山は台風の影響はなく快晴で、意外と涼しく快適な山行であった。
帰路では、名物の「ゴマ豆腐」と「焼きもち」を購入し、今回延期となった山行計画や、次回の山行の打ち合わせをして、解散。
次回も楽しみだ!!